

弘経寺だより

発所

寿亀山弘経寺

〒303-0041

常総市豊岡町甲1

TEL0297-24-0895

チャリティーコンサート

東日本大震災復興支援チャリティーコンサートを四月二十九日（金曜日、祝日）に弘経寺にて開催します。松堂久美恵さんの美しい歌声と森亮子さんが奏でるオルガンの音色を是非弘経寺本堂でお聴きいただきたくご案内申し上げます。

2011年5月

震災からの復興への果てしなく長い道のり。未だ収まることのない原発事故。「今私たちにできること」を形にしました。

このコンサートに参加するために弘経寺へ足を運んでくださるだけで、復興への私たちのささやかな想いが成就されます。入場料は全額東日本大震災義捐金として日本赤十字へ寄付されます。

ご来場を心よりお待ち申し上げます。

日 時 四月二十九日（金）

午後二時受付、二時三〇分開演

場 所 飯沼弘経寺本堂

入場料 二〇〇〇円

四月一〇日の出来事

四月十一日は千姫さまの生誕日でした。残念ながら、天樹祭は中止となつてしまいましたが、金田主管の発願により、もともと四月一〇日（日）に予定されていた天樹祭の代わりに、東日本大震災殉難者の追悼法要をお勤めました。

午後二時四六分（三月十一日に大地震が発生した時間）に、殉難者のご冥福を願って、参拝者の方々と共に、お念仏をお称えました。

境内では伊奈高校歴史研究部の学生さんたち十一名がボランティアで、弘経寺歴代人・徳川家歴代尊霊の位牌調査や宗運伝説の説明をしました。桜を見に来ていた参拝客の皆さんは学生さんたちの研究発表に熱心に耳を傾けていました。

位牌調査は土井義行学芸員と伊奈

高校の小野威人教諭の指導により歴史研究部の学生たちと共に進められ、その成果が朝日新聞等で報道されていきました。この一連の研究調査の集大成として、弘経寺歴代人・徳川家歴代尊霊の位牌が裏堂に陳列されました。陳列の棚は、当山世話人の土生末治さんが中心となって作ってください、有志の皆さんがそれら沢山のお位牌をひとつひとつ埃を払って並べてくださいました。

五智如来の周りを、開山上人から第七五世までの歴代住職の位牌と初代から一四代將軍までの位牌が整然と囲んでいる様子は壮観です。

是非、弘経寺にお参りの際に、ご覧いただきたく存じます。



震災日誌（一）

私は日本人は優秀であると信じてきた。しかし、この度の東日本大震災における福島原発事故を目の当たりにして、その自信は崩れつつある。

これまで原子力発電に携わってきた方々は優秀な日本人の中でも特に優秀な「高学歴」の方々であると聞く。最先端の科学技術を駆使して、日本経済の大動脈である「電力」を与え続けてきた。しかし、私たちが当たり前のように大量に消費してきた電力は、実は原子力発電所の陰に隠れて見えなかった放射能汚染と隣り合わせだったことに、この度の原発事故を通し、痛い目にあつて初めて学んだ。いわゆる高学歴の優秀な人たちを無力化してしまうほどに、原子力は危険を孕んでいたことを初めて学んだ。

この「優秀」とか「頭がいい」という言葉。私も気軽についつい使つてしまっているのだが、本当の優秀さとか頭の良さって何だろうと考えてみた。日本の「優秀な」大学は税金をたくさんもらつて、いわゆる「頭のいい人」を育ててきた。原子力発電や半導体、バイオテクノロジーなど私たちの生活を豊かにしてくれる科学技術を研

究し、それを実践する人材を輩出してきた。結果、生活が大変便利になり、私たちもその恩恵に浴してきた。

しかし、最先端の科学技術や理論の追いを追いついてきた結果、この度の震災で何が起こったか？ 私たちは今、どのような状況にさらされているのか？

浄土教において理想の人間像は「知恵」と「慈悲」の両方を備えた存在だとされている。「知恵」とは科学に代表されるような、人類がその歴史の中で努力に努力を重ねて培ってきた理論や技術である。しかし、その「知恵」を正しく使うためには「慈悲」の心が必要である。日本の大学は、理論や技術のみを教えて、それを扱う側の人間に当然備わっていないなければならない。「慈悲」を全く学ばせていなかったが故に、今回のような原子力発電所の深刻な事故を起こしてしまった。

政治に携わる人たちにとって「慈悲」とは「国民の健康と財産を何よりも先に守ろうとする心」であろう。また、科学者にとっての「慈悲」とは「謙虚さ」ではないかと思う。

第50号 この度の原発事故を偶然という人もいるが、私は日本人の驕りが招いた

必然ともいえる事故だったのでないかと思う。どんなに難しい理論を学んだとしても、どんなに難しい技術を身につけたとしても、「自分たちの理論や技術に間違いはない」と傲慢になってしまったら、その時点で今回のような事故が起こるのは必然であったように思える。高濃度放射能を含んだ汚染水や飛散し続ける放射能のような制御したり処理したりするのが不可能なものをどうして作ってしまったのか。制御したり処理したりするのが不可能なものをどうして「安全」言い続けることができたのだろうか。頭がいいどころではない、無知そのものではないか。私たち日本人はもともと謙虚になるべきである。それが法然上人の説く「凡夫」である。

今までの実績や地位にあぐらをかいて、謙虚さを忘れて傲慢になって、想像力を働かせずに漫然と原子力発電所を容認してきた代償が今回の事故であるといっても過言ではない。

今こそ法然上人の説く「一文不知の愚鈍の身になして、尼入道の無智のともがらに同じうして、智者のふるまいをせずして」に込められた想いをじっくり味わう必要がある。今から

八百年前に日本で一番の学問所であった比叡山において知恵第一と言われた法然上人。しかし、彼は自分の「知恵」に溺れず「慈悲」の心の実践者として、この「凡夫」の思想を説いた。優秀な人、頭のいい人ほど「凡夫」の思想を身に付けてほしいと願う。それは「知恵」あるものが「慈悲」の心を持つことを意味する。「凡夫」であるという自覚を持った科学者のみが原子力を扱うことを許される。そうでなければ、人類は確実に破滅に向かうだろう。「慈悲」があらゆる研究や技術の大前提となって初めて科学は人類のものとなる。

震災お見舞金を左記の方々より頂戴しました

- 蓮池光洋上人（前橋市大蓮寺） 二〇〇〇〇円
- 石塚和雄様（羽生） 二〇〇〇〇円
- 千姫様生誕日にちなみ左記の方々より御祝を頂戴しました
- 廣井一恵様（東京） 三〇〇〇〇円
- 川島恂二様（古河市） 五〇〇〇〇円

お悔やみ
阿弥陀様の慈光の中、次の方が極楽へ往生されました。
ご冥福をお祈り申し上げます。
三月二十八日石塚信江殿六八歳

五月の写経会

五月二十八日（土）

1:45	受付
2:00	法話
2:20	写経
2:50	お念仏
3:10	懇談

会費 一〇〇〇円（高校生以下は五〇〇円）

※ 三月から写経会の会費はすべて、東日本大震災義捐金として、赤十字に寄付させていただきます。

携行品 小筆（受付でも販売します）

弘経寺HP
<http://www.gugyoji.jp>

です。または、「弘経寺」と入力し検索して下さい。

